

本時の目標
身近な課題を具体的なデータを活用して解決する。
データを用いてグラフに表現させる。

教材
睡眠時間について。
中学1年「資料の活用」学習後に行う。

本時の流れ

	主たる学習活動と 教師の主な発言	予想される生徒の主な反応	指導上の留意点
導入	「昨日何時間寝ましたか？」 「このクラスは何時間の睡眠時間の人が多いのかなぁ？」 「どうしたらわかると思う？」 「黒板の結果を見てどんなことがわかる？」 「その時間は多いの？少ないの？」 「それをどうやって判断するの？」	「6時間。」 「10時間。」 「3時間。」 「黒板に書いたらいい。」 「手を挙げさせればいい。」 「アンケートを取ればいい。」 「表を書けばいい。」 「ほかのクラスと比べる。」 「ほかの学年と比べる。」 「全国と比べる。」	できるだけ意見を言わせる。 黒板に簡単な数直線を書いて自分の睡眠時間の正の字を書き加えさせる。 できるだけ自由に意見を言わせる。
展開	【データの掲示】 「年齢階級別睡眠時間」 「年齢によって睡眠時間が違うことがわかります。10歳～14歳の人たちはどれくらいの睡眠時間でしょうか？」 「この学校の生徒はどのくらいの睡眠時間だろう。」 データをソートしたものを配りヒストグラムを作る。 「作ったグラフから自分のクラスと比べてどうだろう。」 「睡眠時間が少ない理由は何？」	「8.5時間で親の年代より多いね。」 「うちのクラスのほうが少ないよね。」 「平均でしか比べられない。」 「これだけじゃわかんないよ。」 「ヒストグラムを作るとわかりやすいね。」 「全校で比べたらうちのクラスのほうが多い。」 「学年で比べたらうちのクラスが少ない。」 「勉強」 「宿題」 「パソコン」 「LINE」 「塾」 「習い事」	全国のデータは平均値しか示されていないのでこの学校のデータを活用する。 階級幅の設定は各自で。
まとめ	「少ないとどんなマイナス面があるのかなぁ？」 「他にない？」 「睡眠時間を増やすためにはどうしたらいいか考えよう。」	「授業中眠くなって授業が聴けなくて成績が落ちる。」 「身長が伸びない。」 「いらいらする。」	解決策を検討し発表させる。